



令和5年11月1日発行  
第72号

# ながわまち 議会だより

■発行／長野県小県郡長和町議会 ■  
■編集／広報常任委員会 ■

## ●長和町議会令和5年9月定例会

- ◇令和4年度決算認定 ○○○○○○○○ 2
- ◇決算特別委員会審査報告 ○○○○○ 6
- ◇常任委員会審査報告 ○○○○○○○○ 8
- ◇意見書を提出しました ○○○○○○○○ 10
- ◇臨時会報告 ○○○○○○○○○○○○○○○○ 11
- ◇一般質問 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 12
- ◇懇談会 ■視察研修 ■議会報告 ○○ 20
- ◇長和町「あの人を訪ねて」 ○○○○○ 28

★中山道「唐沢の一里塚」★  
(27ページに写真の説明を掲載しています)

# こんな事業に使われました!

読みやすい・分かりやすい「議会だより」を取り組んで改善令和5年度は一般質問や委員会審議を傍聴や内容について、感想や意見を頂く「議会モニター制度」を行います。

長和町のR250-500のバスを10台導入し、料金の値上げ問題について、議員の意見や要望を踏まえ、令和5年度はモニター制度の導入を検討します。



Sato



**議会だよりモニター報償費**  
議会広報を評価して頂きより良く  
**10万4720円**

議会と議員活動内容をより知って頂くために、年4回発行の「議会だより」を読み易く、伝わる知りたい内容にするため「議会だよりモニター」を募集し、感想や要望を伺い、紙面と内容の改善に取り組みました。



Harada



**長和町振興公社経営支援金**  
**2,300万円**  
町内公衆浴場燃料高騰支援事業  
やすらぎの湯 570万円  
ふれあいの湯 180万円

町の観光振興や地域福祉に欠かせない温泉施設の運営管理を担う振興公社の収入が、コロナ禍により低迷していることを受け、事業継続のため支援金を支給した。地方創生臨時交付金を2750万円を充当した。

暮らしを応援します!!  
**長和の里 地域いきいき券**



Ogino

みんなで応援!長和の里  
地域いきいき券販売事業  
**3,050万円**

長和町の店舗や事業者等に対する経営支援と、地域内の消費喚起を目的として、プレミアム率の高い「いきいき券」を販売しました。また、事業者負担分1%を軽減するため、県補助金を活用し260万円を支援。

「コロナ禍で疲弊した地域経済の活性化のため、起爆剤として作用しました。地方創生臨時交付金を活用し、町内の商工業者の閉鎖を打開するための一助になった施策だと考えます。」

## 令和4年度 決算

# 令和4年度 私たちのお金は

新和田トンネルの無料化で交通量が増え下和田バイパスの横断も難儀しています。安全町民の皆様は、安全運転に徹し、旧街道線も利用しましょう。旧道は、家々の町並みや庭木がよく手入れされてきれいですよ！

以前のバスは2輪駆動でしたが、今回購入したバスはいずれも4輪駆動となり、雪道での運行もより安全に行うことができるようになりました。毎日子どもたちが利用するバスですので、安心して利用できるのはありがたいですね！



**ながと保育園送迎バス購入  
合併特例事業債を充当  
2,460万円**



ながと保育園の通園バス2台を新たに購入。なっちゃんとなつこちゃんをデザインしたバスで、古町方面と大門方面へ運行しています。大門方面の送迎の走行距離が長いため、バスを交代しながら運行しています。



**道の駅「和田宿ステーション」誕生！  
合併特例事業債 6,050万円を充当  
6,426万9700円**



和田宿ステーションが、今までの農水省から国交省の管轄に変わり、全国組織の「道の駅」の仲間入りを果たしました。トイレが洋式に、駐車場がきれいな情報コーナーができました。一見の価値あり、です。



**長門小学校大規模改修工事  
工事費、設計監理委託料  
5,093万円**



学校教育施設等整備事業債と国庫補助1347万円を充当し、令和3年度から令和4年度に掛けて校舎の外壁と屋根の修繕工事を実施しました。また、少人数教室の空調設備の整備を行いました。

長門小学校校舎は昭和49年、町財政の34%の建築費をあてて新築されました。築後40年以上を経て、雨漏りがあり、内装にも老朽化が目立っており、トイレの改修や照明器具の改善等、緊急性の高いものから修繕を行っています。

集落によつては、排水の問題、獣害、土手の傾斜がきつい、範囲が大きい等、草刈りなどに苦慮する厳しい状況が見られます。耕作のし難さや高齢化もあり、今後の中山間地の管理運営には課題が多くあります。



中山間地域直接支払事業

2,401万3千円

12集落と協定が締結されており、農地・農道・水路の維持管理、鳥獣害対策など各集落の事業実施に合わせて交付されました。国・県の交付金1800万円を充当し、実施集落へ2400万円を支払いました。



長和町の人員総数が多い！また、給与水準は、国家公務員の給与を100として、県内町村平均95.4、長和町は98.2と、こちらも高い状態です。行政事務の主たる企画管理を除く専門性、窓口業務等は、今後より一層、包括業務委託を進めるべきです。

Watanabe



職員人件費 正規職員 91人分

6億9,216万2千円

会計年度任用職員人件費 97人分

1億9,425万5千円

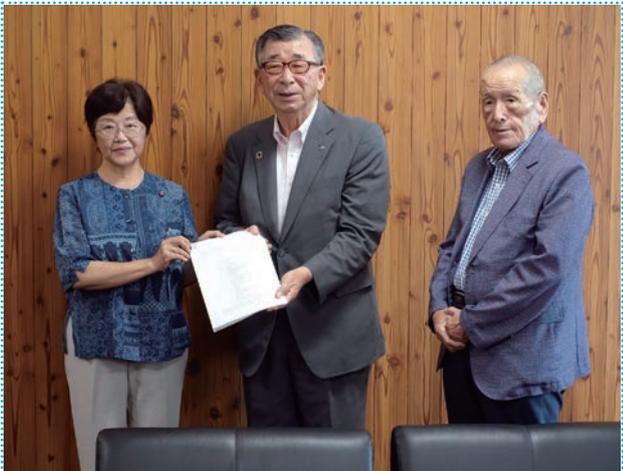
株共立メンテナンス委託料 85人分

1億9,560万4千円

特別職人件費 3人分

4,307万5千円

長和町を運営するために必要な職員等延べ276人の、人件費及び派遣職員に関する物件費の合計です。総額約1億2509万6千円になり、特別会計を含めた決算総額9億7492万円余の約12.4%になります。



丸山淳子 代表監査委員  
羽田健一郎 町長  
小川純夫 監査委員

7月5日から28日にかけて、丸山淳子代表監査委員と小川純夫議会選出監査委員により、令和4年度一般会計、特別会計及び公営企業会計決算について、審査が行われました。その結果、8月28日に「一般会計、特別会計については、歳入歳出決算書、事項別明細書、実質収支に関する調書及び諸書類、公営企業会計については決算報告書、財務諸表、決算附属書類及び証書類を審査した結果、経理は収支とも適正であるものと認める」との審査報告書が羽田町長に提出されました。

令和4年度  
決算

# 令和4年度 決算

**一般会計歳出決算額 71億1150万円**

令和4年度一般会計・特別会計決算を認定しました。

**町のお金はこんな事業に使われました**

**特別会計歳出決算額 19億6341万円**

## 令和4年度 長和町会計別決算額

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
一般会計	72億6926万9561円	71億1150万4426円	1億5776万5135円
国民健康保険特別会計	7億5149万8024円	7億3933万2531円	1216万5493円
国民健康保険歯科診療所事業特別会計	1190万8371円	1190万8371円	0円
後期高齢者医療特別会計	8977万6462円	8925万7931円	51万8531円
介護保険特別会計	10億9593万5401円	10億3850万4096円	5743万1305円
同和地区住宅新築資金等貸付特別会計	667万1274円	1万1688円	665万9586円
観光施設事業特別会計	9644万8728円	8290万0543円	1354万8185円
和田財産区特別会計	558万2827円	150万3928円	407万8899円
特別会計合計	20億5782万1087円	19億6341万9088円	9440万1999円
合計	93億2709万0648円	90億7492万3514円	2億5216万7134円

## 令和4年度 上水道事業会計決算額 (消費税抜)

科目	金額	内容
収益的収支	事業収益 2億6441万8842円	給水収益 1億3861万7090円, 補助金 3658万8723円
	事業費用 2億6092万4526円	減価償却費 1億6476万7876円, 支払利息等 2043万9932円
資本的収支	資本的収入 4315万3570円	補助金 4189万9570円
	資本的支出 8071万4218円	建設改良費 115万7810円, 企業債償還金 7955万6408円

## 令和4年度 公共下水道事業及び排水処理施設事業会計決算額 (消費税抜)

科目	金額	内容
収益的収支	事業収益 4億8858万7987円	下水道使用料 1億0860万0046円, 補助金 1億2528万6000円
	事業費用 4億4872万0947円	減価償却費 3億2959万6579円, 支払利息等 2702万2510円
資本的収支	資本的収入 1億5304万7000円	補助金 1億4144万7000円, 企業債 1160万円
	資本的支出 2億8474万1094円	建設改良費 190万2182円, 企業債償還金 2億8283万8912円

## 令和4年度末 基金の動向 (一般会計分)

基金名	3年度末残高	4年度末残高	増減	会計	3年度末残高	4年度末残高	増減
財政調整基金	17億0006万円	17億6723万円	6717万円	一般会計	63億5102万円	61億9743万円	△1億5359万円
新町一体感醸成基金	6億8151万円	5億6597万円	△1億1554万円	同和住宅資金貸付	0万円	0万円	0万円
その他36基金計	9億9596万円	12億1181万円	2億0585万円	特環公共下水道	21億4920万円	18億7970万円	△2億6950万円
合計	33億7753万円	35億4501万円	1億5748万円	簡易排水施設	1183万円	1009万円	△174万円

# 決算特別委員会 令和4年度一般会計決算審査報告

町の会計は、5月末までに確定した収入や支出を整理した後、監査委員による決算監査があり、その意見書を受けて、町長から9月議会に決算認定の議案が提出されます。決算審査は、議会が決定した予算が適正に執行されたか、行政効果や経済効果を測定し、住民に代わり評価、承認するものです。審査の結果は、後年度の予算編成や行政執行に生かされなければなりません。

決算特別委員会は、8月31日(木)の議会開会日に議員発議により提案され、設置されました。議長と議会選出監査委員を除く8名の議員で構成され、渡辺副議長を委員長として、9月7日(木)、8日(金)、担当課ごとに順次審査を行いました。審査の結果、令和4年度一般会計決算は認定すべきもの決定されました。



渡辺予算特別委員長

1495万3千円

**問** 選挙期間中、投票を促すために、総務課が参議院議員・県知事県議会議員選挙費、巡回バス利用助成を実施した。

総務課

参議院議員・県知事  
県議会議員選挙費  
巡回バス利用助成を実施

選挙期間中、投票を促

4458万7千円

**非常備消防費**  
消防団員数はほぼ横這い

**問** 長和町消防団の女性団員数は何名か。

**答** 令和4年度、団員数225名中27名である。

**問** 令和4年度は防災土着費用について、実績はあったのか。

**答** 令和4年度は防災土着費用について、実績はあった。

4億3178万2千円

**固定資産税**  
町税全体で4.8%収入増

**問** 太陽光発電施設に係る地目変更で調定増とあるが詳細は。

**答** 入大門の日山地区で、対象の土地は38筆、合計面積は42423㎡、参考税額ベースで令和3年

対して、約1632千円の増額となった。相続人調査が困難とのことだが調査件数はどれくらいか。また、課税困難案件はどれくらい増加しているのか。

**答** 令和5年4月から30件以上、相続人の数等の調査を行っている。相続放棄により不納欠損とした固定資産税の件数は令和3年の22件に対し、41件と増加している。

32万7千円

**企画財政課**  
空き家活用移住促進事業  
田舎暮らし体験住宅運営事業

**問** 令和4年度の田舎暮らし体験住宅の利用者数、及び空き家バンクの登録件数は。

**答** 田舎暮らし体験住宅の利用者数は16組、空き家バンク登録件数は13件である。

1648万1千円

**有害鳥獣対策協議会補助金** 捕獲頭数は、シカ891頭、イノシシ23頭

町内の二ホンジカが減

1800万円

**産業振興課**  
マルシェ黒耀指定管理料

**問** マルシェ黒耀の指定管理料について、今後どのようにしていくか。

**答** 来年度の予算編成に向け、マルシェ黒耀の運営状況等を検証して、対応したい。

581万6千円

**公営住宅建物修繕費**  
町営住宅130戸  
公営住宅50戸

**問** 町営住宅や公営住宅の修繕は計画的に行われているか。

**答** 取り壊しや単純な修繕については、有利な起債が無いことから先送りになっている。応急的な修繕は実施している。

2500万円

**保健総務一般経費**

内、2380万円は、信州大学医学部健康推進学講座事業として算入される

**問** 信州大学の健康推進医

少しているところがあるが、その根拠は何か。

**答** 地区によって差はあるが、実際に捕獲に携わる人の話と、樹木の皮剥被害の減少から判断をしている。

**こども・健康推進課**

**保育園運営経費**

ながと保育園6232万円  
和田保育園1585万円

7817万7千円

**問** 和田保育園の園児数が減少しているが、今後の方向性は。

**答** 保育園と小学校を一緒に考えていく。都会の子育て世帯が長和町に移住体験する事業を観光協会が計画しており、10月中旬から令和6年1月末まで、実証実験を行う予定である。

323万3千円

**町民福祉課**

**マイナンバーカード交付対象経費**

発行件数は4222件

**問** 長和町では、マイナンバーカードの紐付け作業に関して、誤りはなかったか。

**答** 今のところ紐付けに関して問題はないということで総点検の対象外と

学講座は今年度が最後だが、調査目標は達成できそうか。

**答** 肝炎の採血検査は3000人に達し、町民の6割を超え、統計的なデータが確保できる状況となった。

3億9168万円

**依田窪病院負担金**

前年比3185万円の増

**問** 講座が終了すると、依田窪病院の医師数は減少するのか。

**答** 病院において、医師確保のための計画が立てられている。

1750万7千円

**福祉企業センター事務費 建物修繕費68千円**

**問** 施設が老朽化しているが、利用者から改修等の要望はないか。

**答** 全利用者と指導者に面談を行っているが、現時点では施設設備等に関する要望はない。

なっている。

**問** 災害時避難行動要支援者登録について、データで活用されているか。

**答** 避難行動要支援者の個別避難計画を作成し、社会福祉協議会のカンタンマップに登録することになっている。担当は総務課になるが、福祉等関係事業所に説明会を実施して、来年より作成できるよう進めている。

5万円

**防災福祉カンタンマップ導入事業**

1968万4千円

**教育課**

**給食費無償化関連費用**

区域外を含めた小中学校児童生徒332名

**問** 給食無償化の財源に、過疎対策事業債のソフト事業を充てているが、安定的な財源を検討すべきではないか。

**答** 財源について検討した結果、過疎債のソフト事業を充てた。今後、財政係とも検討を行う。

541万円

**公民館一般経費**

成人式、文化祭、生涯学習講座などの謝礼、記念品等

**問** 公民館関連講座の申込者数の状況、申込期限などは。

**答** 参加者の高齢化と新型コロナウイルスの感染拡大により参加者が減少した。申込者拡大のため、講座内容の見直しや新講座の企画を考えることも必要と考えている。

1681万3千円

**児童館運営事業**

長門児童クラブ登録数は94人、和田児童クラブは13人

**問** 長門児童クラブの運営に関して、ふれあい館の施設の狭さが問題だが、小学校や古町コミュニティセンターの利用も含め対策は考えているのか。

**答** 小学校の空き教室利用については、小学校長より前向きな返事を頂いているので、具体的に進めていきたい。古町コミュニティセンターの利用は難しい状況である。



新しい公民館 古町コミュニティセンター

総務経済常任委員会審査報告



原田恵召 委員長

総務経済常任委員会

委員長／原田 恵召  
副委員長／佐藤 恵一  
委員／龍野 一幸  
小川 純夫  
渡辺 久人

総務経済常任委員会は、9月12日(火)に委員会を開催し、令和4年度特別会計決算、令和5年度一般会計補正予算などについて審査し、すべての議案が全員賛成で可決すべきものと決定されました。

令和4年度長和町観光施設事業特別会計決算の認定について

**問** 学者村別荘地山の家代替施設の床面の排水はどうなっているか。

**答** 床面に排水溝等はないので、毎朝8時40分に施設トイレの確認を行う際、床に雨溜まりがあれば大型スリーパーで排水している。

**問** 契約更新や解約希望者からの苦情はどのようなものがあるか。

**答** 学者村別荘地の管理費平準化に関する苦情や、解約時に「区画が狭かった」「崖地だった」等、購入当時から苦情が寄せられている。



学者村別荘地に完成した『風の庭』

令和5年度長和町一般会計補正予算(第7号)について

既定の予算総額に1億0948万3千円を追加し、予算総額を58億5547万1千円とする

**■** 空き家バンク等ホームページ(HP)管理等委託料39万6千円

**問** 空き家バンクHPの管理委託先は既存の業者か、または新しい業者に委託するのか。予算額が安くないか。

**答** 委託する業者は全く未定で、役場HP刷新に併せて検討する。HPの物件の更新等は職員が行う仕様のため安価となっている。

**■** CATV自主放送設備改修工事237万6千円の増

**問** 設備改修の内容は。

**答** エアコンと自動ドアの修繕である。緊急性があり、猛暑であったため、先行着手した。支出名目が放送設備ではないが。

**答** 工事請負費の細々節には、この科目の設定のみである。財源は有線放送施設改善基金を充てる。

**■** 畜産振興費乳製品加工処理施設修繕工事293万1千円の増

**問** 長門牧場の施設修繕工事は、数年前に新設した加工施設ではないのか。

**答** 長門牧場駐車場のトイレの西側にある平成12年に設置した施設が該当する。

**■** 道の駅直売施設運営経費施設修繕費17万6千円の増

**問** マルメロの駅ながとの下屋の看板付替え費用は、町が全額を負担するのか。

**答** 看板の設置者は町で

あるため、町が全額を負担する。マルメロの駅の商業施設は各事業者の所有であるため、頻繁に事業者が変更になることはないものと考ええる。

**■** 林業費有害鳥獣駆除対策協議会補助金69万6千円の増

**問** 前年度と比較して捕獲頭数が減るとしているが、その根拠と、予算以上に捕獲された場合の捕獲報償費はどうなるか。

**答** 補正予算の根拠として、前年度の月ごとの捕獲頭数と比較した結果、今年度は減ると判断した。予算以上に捕獲された場合にはさらに補正予算に計上して対応する。

# 社会文教常任委員会審査報告



田福光規 委員長

## 社会文教常任委員会

委員長／田福 光規  
副委員長／荻野 友一  
委員／阿部 由紀子  
羽田 公夫  
森田 公明

社会文教常任委員会は、9月13日(水)に委員会を開催し、令和4年度特別会計決算、令和5年度一般会計補正予算などについて審査し、すべての議案が全員賛成で可決すべきものと決定されました。

令和4年度長和町国民健康保険特別会計(事業勘定)決算簿認定について

**問** 国保税率改定により

国保税賦課総額が伸びているようだが、収納率も上がっているようだ。税率改定による影響はないか。

**答** 国保税率の改定は県の保険税統一に向けて資産割を、所得割・均

等割・平等割に配分し

ており、バランスをみながら税率を検討している。収納率向上は、

国保税滞納世帯に短期証を発行することで、折衝機会を設けているなどの成果であると思われる。

令和5年度長和町一般会計補正予算(第7号)について

**■** 戸籍会計年度任用職員人件費247万8千円の減

**問** 人件費がかなり減額になったが、業務に支障はないか。

**答** 昨年度までのマイナンバーカード交付関係事務について一定の目的を達成したため、窓口係が3名から2名に1名減となったもの。

**■** 防犯灯修繕費30万円の増

**問** 現時点での防犯灯のLED化率は、どの程度か。

**答** 令和5年9月現在、自治会・区所有の防犯灯で未LED化のものが全体の8%、町所有で未LED化のものが全体の14%となっている。全体では78%がL

ED化済である。

**■** 塵芥処理費クリーンセンター負担金222万3千1千円の増

**問** 増額の内訳は。

**答** 丸子クリーンセンターの緊急修繕で、全体の費用は7942万8千円である。

**■** 公園管理費式典設営等委託料64万の増

**問** 当初予算に計上しなかったのはなぜか。

**答** 5月の業者選定委員

会で、セレモニーを実施した方が良いという指摘があったため。

**問** 式典よりも、新しい「いこいの丘公園」を町民に周知することに使った方が良いのではないか。

**答** 式典の詳細はこれからだが、遊具ということもあり、子どもたちを呼んで喜んでもらえる内容にする。その映像を町広報や放送で流

して、公園施設について周知していきたい。

**■** 保育園運営経費備品購入費75万の増

**問** ながと保育園、和田保育園の備品購入費は何を買うのか。

**答** 園児送迎バスの置き去り防止のための安全装置購入費。園児の降車後、運転者等による車内の点検後に確認ボタンを押す方式で、国の基準を満たした装置を設置する。

**■** 健康づくり費システム委託料242万円の増

**問** どのようなシステム改修か。

**答** 病院の電子カルテの更新で、町の健康管理システムに町民ドックの健診データを取り込めなくなってしまうため、取込めるようにするもの。(抜粋)



改修工事が進む「いこいの丘公園」

# 9月議会



長和町議会 令和5年第3回定例会が、長和町役場議場に於いて、8月31日(木)から9月20日(水)までの21日間の会期で開かれ、報告16件、発議1件、令和4年度決算認定10件、条例案1件、令和5年度補正予算案8件、その他6件について審議を行い、すべての議案が、全員賛成で可決・認定・同意・適任とされました。また、7人の議員が町の様々な課題について、一般質問を行いました。

審議結果は、議会ホームページに掲載してあります。

## 「改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の継続を求める意見書」を提出しました!

意見書」を提出しました!

長和町議会では、マイナンバーカードの運用において、公金受取口座の誤登録や別人の情報紐付けされるなどのトラブルの発生が報道され、町民に不安を与えていることを受け、改正マイナンバー法を見直し、健康保険証等の性急なマイナンバーカードへの移行について再検討を求め、健康保険証の継続を強く求める意見書を議員発議により提案、議会初日に可決しました。意見書は、9月1日、内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長に宛てて提出しました。



健康保険証の移行は慎重に!

改正マイナンバー法が6月2日に成立し、政府は、2024年秋にマイナンバーカードを健康保険証の機能をもたせた「マイナ保険証」に一本化し、現行の健康保険証を廃止しようとしています。

オンライン資格確認システム導入の義務化、現行の健康保険証の廃止は、取得が任意であるはずのマイナンバーカードを事実上義務化させることになり、選択の自由と国民皆保険制度を壊しかねません。

マイナンバーカードを巡ってはマイナ保険証に別人の情報が入り付けられた事例や機器がマイナ保険証の情報を読めない事例、公金受け取り口座の誤登録、住民票の写しなどのコンビニ交付サービスで別人の証明書が発行されるなどのトラブルが続出しています。

保険証を廃止すれば、利用者が保険資格を証明出来ずに窓口で10割負担を求められるケースや、別人の医療情報に基づく誤った診断や薬の処方への危険性も指摘されています。

さらに、寝たきりや認知症、一人暮らしの高齢者や心身に障がいを持つ方々は十分に対応が出来ずに必要な医療を受ける権利が損なわれる恐れもあり、国民の生命に関わる深刻な事態にも発展しかねません。

誰もが安心して医療が受けられる「国民皆保険」の土台を揺るがす重大な問題です。

誰もが安心して医療を受けることができる社会保障制度を維持するため、国会及び政府においては、改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の継続を強く求めるものです。

よって、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

令和5年9月1日

長和町議会議長 森田 公明

# 臨時会

## 令和5年7月10日第2回臨時会

7月10日(月)、19日(水)、物価高騰対策及び新型コロナウイルス感染症に対応する国・県の補助金の決定を受け、令和5年度第2回、第3回臨時会が、また、8月4日(金)、ブランシユたかやまスキー場の改修工事に関する議決のため第4回臨時会が開催され、すべての議案が全員賛成で可決されました。

令和5年度長和町一般会計補正予算(第5号)について

既定の予算総額から3745万3千円を減額し、予算総額を57億233万1千円とする

- 県補助による価格高騰特別対策交付金事業費532万円の増
- 住民税所得割非課税世帯に1世帯2万円の支援をする。
- 県補助による子育て世帯生活支援特別給付金243万円の増
- 8歳以下の児童のいる住民税所得割非課税世帯に、児童1人3万円を支給する。
- 観光庁の国際競争力

億円余に増えたが、申請は通るのか。

答 事業内容は大丈夫だと考える。上限枠に注意して事務を進める。

ブランシユたかやまスキー場条例の一部を改正する条例

■ 高いスノーリゾートの形成促進事業補助金を受けないことを受け、スキー場管理事業の組替により452万5千円の減

問 来年度以降の補助金の見込みはどうか。

答 ハード事業の採択は厳しかったと聞く。今後採択される可能性がある内容であると考えている。

問 辺地対策事業債が1

## 令和5年7月19日第3回臨時会

令和5年度長和町一般会計補正予算(第6号)について

既定の予算総額から4365万7千円を追加し、予算総額を57億4598万8千円とする

- 福祉事業所エネルギー価格高騰対策支援事業206万円の増
- 町内15の福祉事業所を対象に、県の補助に町の補助を加えて支給する。県の対象にならない4つの事業所は町独自で支給。
- ごみ収集運搬事業燃料高騰対策補助金39万5千円の増
- ごみ収集運搬事業者4者に対し燃料高騰分を補助する。
- 農家支援価格高騰対策事業379万円の増

令和4年50万円以上の農業収入のある農業者に、飼料や肥料、燃料などの価格高騰分を助成する。

映できると考えた。

■ 地域いきいき券配布事業2040万円の増  
物価及びエネルギー価格高騰の中、住民生活の応援と消費喚起による町内事業者支援のため、町民1人3000円の地域いきいき券を配布する。

## 令和5年8月4日第4回臨時会

ブランシユたかやまスキーリゾート人工降雪給水配管等改修工事請負契約の締結について

■ ブランシユたかやまスキー場の人工降雪機

の設置、及び給水配管やポンプの更新等を実施する8800万円の

問 財源確保の状況は。

答 辺地対策事業債の二次申請分を提出する予定である。

問 スノーボードを取り入れてはどうか。

答 スキーヤーオンリーを大きな売りとしてきたが、シニア世代が減少して、若い人はスノーボーダーの方が圧倒的に多くなってきた。検討していく。

1, <sup>あべ ゆきこ</sup>阿部 由紀子 議員 …………… P.13

- (1) SDGs –男女共同参画の現状と今後–
- (2) 町民と共有する自主防災知識
- (3) 交通不便地域の解消に向けて

2, <sup>さとう けいいち</sup>佐藤 恵一 議員 …………… P.14

- (1) 荒廃農地の草刈り補助、解消策、獣害対策
- (2) 長野県みどりの食料システム戦略を里山にどう取り入れるか
- (3) 小水力発電の進捗状況、再エネ事業の収益が地域にとどまるか

3, <sup>たふく こうき</sup>田福 光規 議員 …………… P.15

- (1) マイナンバーカード登録の現状と問題点、今後の課題について
- (2) 加齢性難聴者の補聴器購入助成について
- (3) 帯状疱疹予防ワクチン接種への助成の実施について

4, <sup>わたなべ ひさと</sup>渡辺 久人 議員 …………… P.16

- (1) 公共施設等の安全性について
- (2) 保育所、放課後児童クラブ等の「安全計画」について

5, <sup>たつの かずゆき</sup>龍野 一幸 議員 …………… P.17

- (1) ハザードマップから見る防災減災について
- (2) 鳥獣害対策について

6, <sup>はらだ えしょう</sup>原田 恵召 議員 …………… P.18

- (1) 職員採用の要件と職員の町外転出について
- (2) ブランシュたかやまスキー場のボード解禁について
- (3) 買い物難民対策について
- (4) 長久保信号機の右折レーン延長について

7, <sup>おぎの ともかず</sup>荻野 友一 議員 …………… P.19

- (1) 長和町の観光振興策について

# 質一般問般

## 7人の議員が町政を問う！

第3回定例会では、9月1日(金)9月4日(月)に一般質問が行われ、7人の議員が町の課題について質しました。

★議員の質問時間は、答弁を含め60分以内です。

「議会だより」では、誌面の都合上、質問議員が質問と答弁を要約して掲載しています。



阿部由紀子  
議員

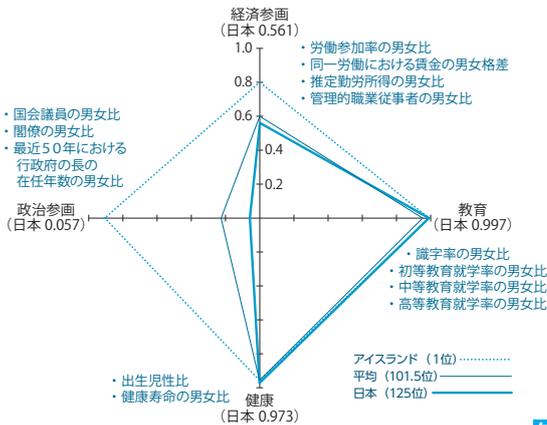
SDGs — 男女共同参画の現状と今後 —

# 町の男女共同参画への取り組みは

## 町民意識調査を基に、今後推進を図る

**問** 世界経済フォーラムが毎年発表しているグローバルジェンダーギャップ指数というものがある。これは世界各国の男女平等の度合いを数値化したもので、日本は146カ国中125位で主要先進国の中では最下位である。特に政治、経済の分野で格差解消が進んでいないことが問題視されているが、長和町の行政の役職や役員の男女の割合はどのようなものか。

**答** **総務課長** 令和5年度における役職の割合は、課長級が全10名のうち女性は0名、課長補佐級は全5名のうち女性は1名、係長級は全23名のうち女性は5名となっている。現在、農業委



**問** 現日本人の人口の約10%がLGBTQであるという調査結果がある。これは左

**答** **教育長** LGBTQの方はこれまで支援から取り残されており、多様性が尊重される時代にあつて、早急

順位	国名	GGI
1	アイスランド	0.912
2	ノルウェー	0.879
3	フィンランド	0.863
6	ドイツ	0.815
43	アメリカ	0.748
105	韓国	0.680
101.5	平均	0.684
125	日本	0.647
146	アフガニスタン	0.405

利きの人や血液型がA B型の人とほぼ同じ割合であるとしており、ジェンダー平等、男女共同参画や女性の活躍推進を考えるにあたってはLGBTQを受容できる社会の構築の重要性が問われている。町ではどのように考えているか。

**問** 「長野県パートナーシップ届出制度」が8月1日から施行されたが、この制度はどのようなものか。

**答** **教育課長** この制度は双方または一方が性的マイノリティであり、互いを人生

に対応すべき人権問題と感じている。

**問** 長野県パートナーシップ届出制度が8月1日から施行されたが、この制度はどのようなものか。

**答** **教育課長** この制度は双方または一方が性的マイノリティであり、互いを人生

のパートナーとして継続的に協力し合うことを約束した2者間の関係を県に届け

ることを証明するものである。届出申請と証明書交付は長野県が、それに準じた行政サービスは町の窓口での対応となる。

**交通不便地域の解消に向けて**

**デマンド交通の通学、通院への要望が強い**

**持続可能な公共交通の維持は非常に重要**

**問** 高校通学の不便さについて、JRバスの時間帯が合わない、千曲バスに比べて料金が高等が上げられており丸子地域や大屋駅まで家族が送り迎えをしている現状がある。現在考えられる

**答** **総務課長** 令和6年4月に、デマンドバスの運行を予定している。現在の巡回バスのエリア内を運行し、距離に応じた料金を設定する。

現状がある。現在考えられる

距離に応じた料金を設定する。(抜粋)



佐藤 恵一  
議員

荒廃農地の草刈り補助、解消策、獣害対策

## 町内の荒れた土地の解消策は

## 地域に適した新しい活用を検討する

**問** 荒れた土地の解消に向けて、町はどのように取り組む姿勢か。

**答 町長** 集約化から取り残された農地は、現状では積極的な営農に結びつかない状況にあるが、耕作できる状態が維持されている農地は意欲的な担い手が主体となって、その地域に適した新しい活用を検討することで荒廃農地の拡大を抑制したい。

**問** 多面的機能支払交付金を活用して、隣接する耕作放棄地の維持管理はできないのか。

**答 建設水道課長** 多面的機能支払交付金事業では、遊休農地の解消及び発生防止のための保全管理を行うこ



雑草が繁茂する遊休荒廃地

とができる。また、作業委託等の外注については、該当活動が規模や技術面から見て活動組織が実施可能な範囲を超えていると判断される場合は対象となる。

**問** 窓口での相談時、荒廃農地は個人所有の私的土地のため、草刈り等の土地の維持管理に、行政として原則、補助制度がないと説明を受けるが、「住民の声」に応え

る具体的な施策の検討はなされないのか。

**答 産業振興課長** 町は、住民自らの自主性や自立性等を尊重し、住民の活動に対して支援や協働を行う場合には、まちづくりの基本原則に反することの無いよう行政と住民が果たすべき責務を明確にし、所有者において負担を伴う性格のものについては分別をしていくことが重要であるとの認識である。所有者は、周辺の農業生産活動に支障が生じないよう農地の適切な維持管理を行い、地域においては適切に管理されていない農地が発生した場合には住民相互や関係機関等と情報共有や協力することにより

荒廃農地の発生防止に努めて頂くことが不可欠であると考え。

**問** 高齢化等で構成員が減少した集落では、鹿柵の維持管理も大きな負担となっている。高齢化や人口減少が顕著な自治会、区への町の対応策はあるのか。

**答 産業振興課長** 獣害防止柵並びに設置区間の保全管理については、地域住民や農業関係組織等が一丸となって取り組みを推進した経過を踏まえると、設置者が主体となって責任を持って管理を行うことが原則となるので、引き続き、ご理解ご協力をお願いしたい。

(抜粋)



田福 光規  
議員

マイナンバーカード登録の現状と問題点、今後の課題について

## 総点検で町の業務負担への影響が心配

### 現段階では、総点検の必要はない

は、当町は総点検の必要はないとの回答がきている。

加齢性難聴者の補聴器購入助成について

来年度予算で、補聴器購入補助の実施を

実施に向けて協議を進める

問 長野県内の加齢性難聴者への補聴器購入補助は、計12自治体に広がっている。当町においても、来年度予算で、補聴器購入補助の実施を要望する。

答 町民福祉課長 町のアンケート結果から見ると、補聴器の購入を希望したい方の割合は、長和町の75歳以上の約1300人の後期高齢者のうち78人となる。町長の答弁のとおり、補聴器購入補助の事業実施に向けて協議を進めていく。

(抜粋)

問 依田窪病院では、マイナ保険証のトラブルは発生していないか。

答 町民福祉課長 確認したところ、大きなトラブルは無いようだが、顔認証が読み込めず暗証番号を入力したケースが数件あった。

問 マイナ保険証が使えないトラブルは、どのような理由で起こっているのか。

答 町民福祉課長 今、全国的に起きているトラブルは一般的に、健康保険組合による紐付けが手作業のため住所確認などが不十分だったケース等により、医療機関で別人の医療情報がひも付けされたり、カードの読み取りや顔認証、通信機器の不具合などで無保険扱い

となり、医療費10割を請求されるなどがある。

問 当町のマイナンバーカードの取得率は何か。

答 町民福祉課長 令和5年7月末現在、申請率は85.0%で、交付率は77.9%である。急速に進んだ理由は、国が実施したマイナポイント事業の実施により、各自治体が臨時申請窓口設置等を地域の実情に応じて実施した結果だと思う。

問 マイナンバーカードの自主返納が急速に広がっているそうだが、当町での返納者は。

答 町民福祉課長 当町でのマイナンバーカード返納者は1名で、その理由は「国が信用できない」とのこと



コミュニケーションのための必需品



渡辺 久人  
議員

公共施設等の安全性について

# 法令に基づくと建物の点検は行っているか 一部の施設を除き、実施している

**問** 長門児童館の軒天が落下する事故があり、幸い人的な事故にはならなかった。また、長門牧場の軒天も修繕の予算が計上された。それぞれ経過と原因は究明できたのか。

**答 教育長** 経年劣化により接続部が腐食しパネルの一部が落ちたものである。修復するまで子どもが危険箇所に入らないようネットによるバリケードを設置し応急措置を図った。修繕費用は、早期に修復を図るため予備費を充用し対応した。今後は職員が定期的に施設の確認を行い、危険箇所を事前に把握し、安全確保に努めていく。

**問** 町長は建物を常時適法な状態に維持するよう努力義務が課されている。職員にとっては自分たちの勤めの場合であり、保育・教育、集会施設、避難所となる施設もある。職員が自ら町の財産を管理する意識を持ち自立的な点検ができないか。

**答 企画財政課長** 日頃の点検・観察を行うことにより、早期に変化や異変に気付いて適時適切な対処を行うことで、今後も施設を良好な状態に保つことができるよう、引き続き職員ができる範囲において



長門児童館でパネルが落下

て、自主的な点検を実施していく。

## 保育所、放課後児童クラブ等の安全計画について 児童の安全確保に関する取組みは 年度内に安全計画の策定を行う

**問** 保育園バスの安全装置の設置完了はいつになるか。また、その仕様は。

**答 こども・健康推進課長** 9月議会に補正予算を計上し、速やかに設置する計画

ていく。

**保育所、放課後児童クラブ等の安全計画について**

**児童の安全確保に関する取組みは**

**年度内に安全計画の策定を行う**

である。装置の仕様は、エンジン停止後に車内の安全確認を促し、車内確認後に車両後部の装置を操作すると警報が停止する降車時確認式装置と、車内に設置するセンサーにより置き去りにされた子どもを検知すると車外向けに警報を発する自動検知式装置があり、町の運行管理に合った装置を設置する。

**問** 小学校のスクールバスでは児童の所在確認は行っているか。また、小学校のス

**答 教育課長** 小学校のスクールバスはJRバスに委託している。スクールバスが終点のバス停に着いた時点で、置き去りの子どもがいなくても乗務員が確認を行っている。また、バスの乗務員も乗車時にこのバス停で降りるお子さんが乗車したかを概ね承知しており、下車時には気配りをしている。上級生には下級生の面倒を見ながら確認して一緒にバスを降りるよう指導している。小学校のスクールバスの安全装置については、現在の対策で対応できていることから設置は考えていない。(抜粋)



龍野 一幸  
議員

ハザードマップから見る防災減災について

# 浸水想定区域が多いが、災害規模は

# 1000年に一度クラスの確率を想定

**問** 5月に配布されたハザードマップでは古町地区の最終避難所である古町コミュニティは50cmから3m、依田窪病院は3mから5m浸水するとされる。どの程度の災害を想定したのか。

**答 町長** 町民の皆様は「自分の命を守る」ためにできることを一緒に考えて頂くとともに、犠牲者を出さないための避難体制の推進を図るため全戸に配布した。土砂災害と浸水想定区域の2種類を示し、浸水想定は1000年に一度、48時間に累計762mm以上の降雨量となる場合とした。

**問** 危険区域周辺の堤防の強度は調査しているのか。また、橋梁の損傷も予想でき

るが、橋梁強度の検証はしているか。

**答 建設水道課長** 最大規模の降雨により氾濫を想定したもののだが、堤防強度の調査まではしていない。橋梁については5年に一度の法定点検が義務付けられており、支障が出ていると指摘された橋梁に関しては修繕を行っているが、自然災害での検証はしていない。

**問** 緊急放送や防災無線が聞こえない、聞き取りにくい

**答** 緊急放送や防災無線が聞こえない、聞き取りにくい

**獣害対策について**

## 敬遠される止め刺し、町で人材確保を

## 町からの人員配置は困難である

**問** 鉄砲による狩猟が禁止されている地域ではワナでの

捕獲以外方法がないが、「止め刺し」ができない。町で

などの地区がある。防災情報の告知方法の改善はできないか。

**答 総務課長** 火災は消防本部より防災無線を経由して放送、災害等の避難情報は町緊急一斉放送で対応している。防災無線に関しては平成20年からの運用で老朽化が懸念され、今後、より良い方法を検討していきたい。併せて、防災情報等についてはスマートフォンなどの活用も検討している。

**問** 川に沿って鹿が移動侵入してくる。河川周辺の対策も必要と考えるが。

**答** 川に沿って鹿が移動侵入してくる。河川周辺の対策も必要と考えるが。

**答 産業振興課長** 河川においては河川法

人員を配置できないか。

**答 町長** 捕獲した鳥獣は捕獲したもの責任において適正に処理するもの。町職員が狩猟ライセンスを取得して止め刺しを行うことは現状難しいと考える。町では捕獲報奨金を18千円としている。狩猟免許取得のための周知等を行っている。

の規定があり工作物は簡単には設置できない。山際には設置できない。山際には設置できない。山際には設置できない。

の規定があり工作物は簡単には設置できない。山際には設置できない。山際には設置できない。



捕獲したシカの写真を撮って申請します



原田 恵召  
議員

職員採用の要件と職員の町外転出他について

## 町外に転出している町職員の数は

## 婚姻や子の進学により、23人が転出

**問** 町外者の採用はいつからか。また、何人が採用され、何人が町内に居住しているのか。町外者を採用するようになった理由は何か。

**答** **総務課長** 平成28年度からで、同年以降の町外採用者は8人、現在7人が町内に居住している。町外者を採用するようになった理由は、町内者のみでは応募がないため、町外まで広げて募集していることによる。

**問** 職員として採用後に町外へ転出している職員はどの程度あるのか。

**答** **総務課長** 町外に居住している職員は23名いる。町外に転出した主な理由としては、婚姻、子の進学などの家庭の事情である。

ブランシュたかやまスキー場のボード解禁について

## スノーボードを解禁する予定は

## 町として運営会社とともに検討していく

**問** (株)マウント長和より、スノーボードも共存へと検討していると公表されたが、町は会社の考えを受け入れるのか。

**答** **町長** (株)マウント長和の小林社長より、このままスキーヤーのみにこだわって

いれば、スキー場の存続にも影響する可能性もあるとあり、今後、マウント長和においてしっかりと議論を重ねて頂き、どういった経営方針がよいか、町としても(株)マウント長和とともに検討していきたい。

買い物難民対策について

## マルシェ黒耀の一般食品の充実を

## 要望に応えられるよう協議していく

**問** 町内に買い物できるスーパーがあれば、巡回バスを町外まで運行することはな

い。町内に食材の買い物ができる場所の確保はできないのか。また、マルシェ黒

耀に肉や魚類の充実が図れないか。

**答** **産業振興課長** マルシェ黒耀では現在、肉・魚・乳製品・菓子・加工品・飲料・調味料等の一般食品合計で約235品目を扱っており、その内、肉類・魚類は15種

類、週およそ150パックを仕入れている。肉や魚の充実については、直ちに実施することは厳しいとの認識だが、住民の要望に応えられるよう、マルシェ黒耀と協議していきたい。

長久保信号機の右折レーン延長について

## 右折レーンが短く上田方面が直進できない

## 50m延長し、110mにする計画である

**問** 大門・和田から長久保信号機交差点で右折して長久保・佐久方面に行こうとすると、右折レーンが短く、混雑時には上田方面の直進車が進めないことがある。一刻も早く改修を県に要望してほしい。

**答** **建設水道課長** 上田建設事務所は、現在計画している国道142号長久保から四泊落合道路拡幅事業において、右折レーン滞留区間を現状より50m延長、全長110mにして、渋滞を解消する計画でいる。(抜粋)



萩野 友一  
議員

長和町の観光振興策について

# 観光振興はどのように進めるのか

## 地域資源を有効に活用していく

**問** 町の産業振興を考える上で、観光産業がどのように位置づけられ、観光産業発展のために町はどのような考えがあるのか。

**答 町長** 長和町長期総合計画に基づき、産業振興の中で観光産業は主要な産業として位置づけている。また町内には観光に資する地域資源が数多く存在しており、ますます発展する可能性を秘めていると考えている。地域資源を有効に活用しながら、関係機関、団体と連携し観光推進施策に取り組んでいく。

**問** 長期総合計画にある「観光ルートの確立」とは、具体的にどのような考えか。  
**答 産業振興課長** 実際に町

を訪れて頂く「交流人口」を増やすため、観光客が町へ足を運ぶルートや町内の観光地を巡ったり、体験などを通じ滞在する「観光ルート」の確立と、旅前後に長和町のファンになって頂くなど「関係人口」を増やすための、町に興味を持っていただくプロセスを含めた「観光ルート」の確立を目指している。

**問** 冬季の重要な観光資源であったエコーバレースキー場はすでに3シーズン休業となつていているが、町はこれをどうとらえているか。

**答 町長** 町は、令和2年10月に休業の連絡を受け、地域にとつて町にとつて大変憂慮すべき事態と捉え、商

工会、観光協会とともに、運営会社代表者に営業の継続を求めてきた。合わせてスキー場周辺の皆様に対する影響が大きいと考え、各種施策を実施してきたところである。

**問** エコーバレースキー場の休業が続くと、今まで町を訪れていたスノーボードを楽しむ観光客を失うこととなるが、(株)マウント長和と話し合い、ブランシュたかやまスキー場でもスノーボードの受け入れができないか。

**答 産業振興課長** スキーヤーオンリーのスキー場を転換するのは大変難しいこと

であると推測されるが、スキー場の存続にも影響する可能性があるので、しっかりと議論を重ねて頂いた上で、町は総合的に判断していきたいと考えている。

**問** 町内でも観光客に楽しんで頂けるスポーツの提案はたくさんあると思うが、国の補助金で活動する長和町の

スポーツコミッションからの新しい提案はあるのか。  
**答 産業振興課長** 長和町スポーツコミッションでは、今年度からの新しい取り組みとして、旧和田中の教室をボルダリングジムに改修し、これをきっかけに、旧和田中を拠点としたスポーツと観光の発信地化を目指している。また、全日本自転車競技連盟による「信州ながわまちタイムトライアル大会」の開催、冬季「雪板」という長野県発祥のスポーツアクティビティを展開し、ニュースポーツによる新たなファン獲得に向けた取り組みを行っていく予定である。(抜粋)



旧和田中でボルダリングができます

## 依田窪医療福祉事務組合議会

9月21日(木)、依田窪医療福祉事務組合議会令和5年第2回定例会が開催され、令和4年度決算等について審議を行い、すべての議案が全員賛成で可決されました。

令和4年度依田窪病院事業会計決算について、収益的収支は、事業収益が36億4506万円、事業費用が32億8433万円で、差し引き3億6073万円の経常利益となり、これに固定資産の除却な

どの特別損失を加えて、3億2966万円の純利益を計上。(表1)これは、常勤医師の確保による診療体制の強化等によって、入院

収益、外来収益がともに増加し、医療収益が前年度に比べ大きく増加したこと、加えて、新型コロナウイルス感染症への対応による補助金が交付されたことによる。

依田窪介護老人保健施設設置条例の一部改正、経費の増加等により、利用者にご負担頂く食費等の金額を見直す。

(報告：田福光規議員)



Tafuku

## 上田市長和町中学校組合議会

9月21日(木)、中学校組合議会令和5年9月定例会が開催され、令和4年度一般会計決算の認定、令和5年度一般会計補正予算について審議を行い、すべての議案が全員賛成で可決されました。

令和4年度一般会計決算の認定について、歳入1億1998万2千円、歳出1億1848万6千円、差引残額149万6千円。組合負担金は1億228万4千円で、市町の負担割合は、長和町59・07%、上田40・93%である。(表2)

令和5年度一般会計補正予算について、歳入歳出に52万1千円を追加し、予算総額を1億6032万1千円とする。歳入増の主な理由は、学校保健特別対策事業費補助金22万5千円が決定したことによる増額で、主にコロナ対策費として使用される。一般財源と合わせて50万円の予算を組み、換気対策として、普通校舎の廊下側の窓に網戸を取り付ける。

(報告：羽田公天議員)



Hata

表2 上田市長和町中学校組合一般会計の主な歳出決算額 (単位：千円)

款	項	令和4年度	令和3年度	前年比	摘要
議会費		200	167	33	
総務費	総務管理費	583	2,577	△1,994	
	監査委員費	47	45	2	
教育費	教育総務費	9,437	10,308	△871	
	中学校費	94,100	95,778	△1,678	光熱水費 11,100 放送室音響調整卓等 2,684
公債費		14,119	12,172	1,947	
予備費		0	0	0	
歳出決算額		118,486	121,047	△2,561	

# 議会懇談会 委員会視察研修 広域組合議会 活動報告

## ■ 第4回 議会モニター会議

### 若い人の意見を 取り入れ 活性化を



6月29日(木)、長和町役場において、6月定例会を傍聴・視聴して頂いた7名のモニターの皆様と、提出されたアンケートの集計を基に第4回モニター会議を開催しました。

会議において出された主な意見、感想は、

▽ ケーブルテレビに加入していないため議会を視聴できない家庭に対し、インターネット等で見ることで

きる環境にしてほしい。

▽ 若い人の意見が少ないと感じた。消防団など多くの場所に向いて意見を聞いて頂きたい。

▽ 議員の質問に対して、町は明確な回答でなかった気がした。町の本気度を議員は深掘すべきだ。

▽ 議会は、町が立てた計画の進捗状況を確認し、計画の見直しなどを提案することで町の将来像は変わっていく。町との関係向上を図り、良い方向に持って行くことが議会の役目ではないか。

▽ 総務経済・社会文教各常任委員会は5名ずつに分かれているが、人数が少ないのだから全員で行えば良いのでは。

他にも別荘、移住、空き家などに関する意見や要望などが出

され、意見交換を行いました。

議会では、コロナ禍が落ち着いてきたことから、地域や団体との懇談会を開催し、若い方と接する機会も増やし、町の活性化に努めていきます。

(報告：龍野一幸議員)



議会モニターの皆さんの意見を聴く

■ 長野県町村議会議員研修会



長野県町村議会議員研修会

# 議員のなり手不足の現状と対応策



Harada

7月14日(金)、松本市キッセイ文化ホールで長野県町村議会議長会主催の議員研修会が行われました。最初に、毎日新聞論説委員の「人羅格」氏より「議員のなり手問題と住民参加について」と題し、資料を基に講演がありました。

▽2023年統一選挙Ⅱ町村議会議員選挙は、373選挙のうち123町村で無投票。▽定数割れは北海道や長野県などで20町村(前は8町村)▽脱無投票に動く議会・北海道栗山町議会Ⅱ議員の学校

- ・北海道浦幌町議会Ⅱ若手女性議員3人当選、地域協力隊
- ・山形県庄内町議会Ⅱ女性模擬議会

▽なり手不足問題対策先進県の長野県・喬木村議会Ⅱ夜間・休日議会、生坂村議会Ⅱ若手の報酬増額、55歳以下18万円から30万円に

- ・中川村議会Ⅱ35歳から59歳までを4段階に分けて増額、50

代で17万5千円が24万5千円に

- ▽飯綱町議会・高山村議会Ⅱ議会モニターから議員に
- ▽喬木村議会などⅡ事前の進退表明
- ▽議員削減は10人が限度か。

次に、大正大学准教授「大沼みずほ」氏より「少子化対策について」と題し講演がありました。現代の問題点を突いたタイムリーな研修会でした。

■ 小水力発電、再生エネに関する現地視察

## 農業用水路を活用した小水力発電



Sato

(報告：原田恵三議員)



小水力発電所の施設を視察

9月19日(火)、再生可能エネルギーについて研究するため、議会から2名、行政から4名が参加して、佐久市と須坂市へ。

地域資源Ⅱ農業用水を活用した小水力発電所を見学し、小水力発電事業者との意見交換を行いながら小水力発電による再生可能エネルギーの可能性について視察研修を行った。飯山市の(株)藤巻建設が中心となって設置する五郎兵衛用水発電

所(佐久市)、米子北の沢用水発電所(須坂市)は、いずれも発電開始が令和5年4月からであり小水力発電装置と除塵装置等の最新の技術が導入されていた。

両発電所ともに農業用水路を有効に活用しており、また、地元の企業との協業や地域への還元策が講じられ、過疎化にともなう地域の課題解決策として検討すべき事項だと思ふ。

令和2年度より国の制度見直しにより、水力発電を災害時の地域電源として活用することが要件となっており、今後は自治体との地域連携についても調査・研究していきたい。

(報告：佐藤恵一議員)



老人介護保健施設「いこい」

# 老健「いこい」の経営問題が課題！



Tafuku

依田窪医療福祉事務組合議会では、議員Ⅱ上田市議会議員3名・長和町議会議員6名と依田窪病院・老人保健施設「いこい」の懇談会を、令和5年7月28日（金）に開催しました。

国保依田窪病院と老人保健施設「いこい」から、施設の状態と経営の改善施策等についての説明があり、その後、意見交換を行った。

**問** 老健「いこい」の経営の現状が深刻である。最大2億8千万円あった基金を取崩して、現在の残高が2630万円となり、来年度予算が厳しい状況である。その原因には、人件費比率が非常に高い、令和2年から始まった給食の委託、コロナ禍で利用者が減っていることなどがある。特に人件費と給食費が問題で、毎年7〜8千万円不足する。抜本的な改善を図るべき。この状況を見ると、現在の介護保険制度の下では

公的な老健施設は成り立たないのではないか。

**答** 公的施設が老人保健施設全体に占める割合は4〜5%。県下の公的保健は、給与費が主な要因で多くが赤字経営のため、構成自治体から平均で3〜5千万円の繰入を行っており、公的保健で今運営が成り立っているところは殆ど無いと聞いている。

**問** 来年度以降、どのくらい改修費や修繕費が伸びる計画か。

**答** いこいの改修は、建物検査で最重要とされている外壁改修で3千万円ほどである。様々な箇所の老朽化が進んでおり、特に給排水設備は早めにやった方が良いと考える。

病院の改修等は、建物の施設改修や高額医療機器の更新等、向こう10年の実施計画を立てて定期的に行っている。

**問** 給食費の改善策について、「いこい」単独で業者委

託すると、経費をどこまで圧縮できるか検討したか

**答** まだ行っていない。厨房施設や必要な機材の購入等の問題、単独で契約できるのか等々、今業者と話し合っている。また、外部で作ったものをチルドで運び、温めて出すことが可能かについても、業者と話し合っている。

**問** 経営改革プランについて、過去に病院改革プランを策定し、経営改善に向け



地域医療を担う国保「依田窪病院」

た取り組みができたというが、その結果をしっかりと踏まえて、経営強化プランをつくる必要があると思う。

**答** 令和2年までの改革プランの評価は行った。プラン通りには推しななかったが、最終的な目標の経常黒字は結果的に2年度には達成できた。

依田窪病院は、経営強化プランの策定を進め、老健「いこい」は課題が明確になり、今後の取り組みに期待する。経営が厳しいと構成市町の負担金の話になるが、上田市も財政状況将来負担率が急速に悪化してきており、議会では公共施設の見直しなど厳しい意見も出ている。地域の医療福祉を担う皆さんの意見を踏まえ、それぞれ自治体が役割を果たしていかなければならないと思う。

（報告：田福光規議員）

■ 青木村・長和町議会議員研修会



(株)竹内製作所「青木工場」の前で説明を聞く

# 青木村の企業誘致施策等を学ぶ



Sato

7月4日(火)、小泉郡2町村の議会議員が集い、研修と意見交換を通じて議会の活性化を図る「青木村・長和町議会議員研修会」を、青木村で開催しました。

青木村出身であり青木村名誉村民となった五島慶太翁の歴史について説明を受けました。五島慶太氏は東急グループの礎を築いた実業家で、教育者として次世代の育成に力を注いだ人でもあります。東急グループと青木村の連携を図った村

づくりについての話を聞き、村出身の著名人のリソースを活かして東急グループ社員等との関係人口、交流人口の増を図るため、継続した企画を立案実施する姿勢が勉強になりました。

その後、「五島慶太未来創造館」及び、当郷地区岡石工業地整備事業に係る「(株)竹内製作所青木村新工場」の見学を行い、担当者から誘致にいたるまでの経緯や造成工事についての説明を受けました。10年余におよぶ行政側のセールスが誘致に結びついたとのことで、

（報告：佐藤恵一 議員）

■ 男女共同参画研修会（動画視聴会）

# 政治分野に女性の視点を参画を



Abe

7月13日(木)、「あいとぴあ」さんかくセミナー第2回「若者・女性の政治参画」講座の開催があり、長和町議会からは5名の議員と事務局が、長和町役場庁舎における動画視聴会に参加しました。

講師は、若い世代の政治参画を促進する、一般社団法人 NO YOUTH NO JAPAN / FIFTYS PROJECT代表の能條桃子さんで、「政治分野のジェンダー不平等／わたしたちの世代で解消を」と題して講演されました。能條さんは、若者の投票率が80%を超えるデンマークでの留学経験を元に、政治分野のジェンダーギャップ指数の解消を目指し、若者の声を届けるため、20代30代の若者の地方選挙への立候補を呼びかけ、一緒に支援する活動をしています。

（報告：阿部由紀子 議員）



役場会議室で動画視聴

動画ではフィフティーズプロジェクトから立候補者で、長野県で地方議員に立候補して当選している2名の女性議員の紹介と、現在の活動や状況についてお聞きしました。政治の分野に女性の視点が加わることが、生きやすい社会の実現につながっていくという視点を基に、今後も、若い人や女性の声が届く社会になるよう、長和町でも男女共同参画への理解を広げていきたいと思っています。



# 清浄園が資源循環型施設の候補地の候補地



上田地域広域連合「清浄園」を視察

7月12日(水)、上田地域広域連合が目指す資源循環型施設の先進地として、広域連合議会議員23名及び事務局4名で静岡県富士市新環境クリーンセンター(富士市大淵676番地)の行政視察を行いました。

同施設は、令和2年10月稼働、炉の規模は250t/日、上田広域連合が計画する144t/日より規模は大きいものの、炉の型式は同じです。

建設費は総額226億円で運営管理費は20年間で145億円を予定。令和4年度の発電量は約33100MW、売電量は発電量の70%(FIT、非FIT)、30%は敷地内消費で、売電価格は約4億3400万円、非FIT分は地元PPS事業者に売電しています。

同施設は敷地面積、能力など上田広域の計画とは規模が違いますが、上田広域連合で建設予定の

資源循環型施設の建設にはまだ時間がかかり、建設費の高騰が危惧されます。一日も早い着工を望むところです。

(報告：渡辺久人議員)



上田地域広域連合議会 富士市新環境クリーンセンター

7月26日(水)、上田地域広域連合の所管する施設に関連し、上田市にある清浄園、下室賀最終処分場、川西消防署の3施設を視察しました。

(1) 清浄園

清浄園は昭和34年、上田

市のし尿処理場として設置され、平成10年上田広域連合設立に伴い、幾重か改修工事を行い現在に至っています。平成30年に長和町汚泥再生処理センターが完成したことから、し尿及び浄化槽汚泥等の投入量は上田市分のみとなり、年間2万t程でピーク時の14%となっています。

また、埋立地は閑静に整備されており、土地の活用に向け今後検討されます。

(3) 川西消防署

所在地は上田市浦野12番地2にあり、管轄区域は青木村全域と上田市西部地区(人口比率4:6)となっています。

なお、清浄園敷地は広域の最重要課題として進めている資源循環型施設の候補地であることから上田市南部グリーンパークに移転する計画です。

職員数は14名、令和4年中の火災出動件数10件(上田市6件)、救急件数663件(上田市469件)と共に上田市への出動が上回っています。

(2) 下室賀最終処分場

同施設は平成8年からクリーンセンターなどから搬出される、固形灰、廃プラ、覆土、焼却灰などの埋め立て用地で、敷地面積44158平方m、埋め立て容量93930m<sup>3</sup>で、令和4年5月の残容量は4732m<sup>3</sup>となっています。

庁舎の外観は蔵風で昭和47年に建築、現在、屋根及び床面の傷みが顕著で、令和11年に大規模改修工事が予定されています。当直者数は3名から4名と少数のため、出動の際は署が無人となる場合があります。

(報告：渡辺久人議員)

ひのほら

■ 長和町議会行政視察 東京都檜原村



檜原村議会の皆さんと

# 公共交通のあり方を再検討する



Tatsuno

20年に実証運行を開始し、現在は路線バスの時刻に合わせ、支線としてバス停まで走るデマンド形態をとる。定期運行の地区と、住民の少ない地区は予約制として2種類の運行に特徴を持つ。利用者の個人負担は100円であるが、利用者は減少傾向にある。現在でも公共交通活性化協議会により、検証・検討が継

8月2日(水)、町の公共交通を検証し、住民に寄り添う公共交通を構築するため、14年前からデマンドバス運行を実施している東京都檜原村を視察しました。檜原村の人口は2千人余りで、過疎化が進む島嶼部を除くと東京都唯一の村である。少子高齢化に伴い利用者数の少ない路線バスの維持と、バスが通らない地域の交通手段確保の課題に向け、新交通システムの導入を検討して来た。平成

■ 長和町議会行政視察 山梨県身延町

# 地域の実情に合うデマンド交通を探る



Ogino

続されており、地域住民の利便性向上に苦慮する様子が伺えた。西東京バスが路線運行を担い、タクシー事業者と貸し切りバス事業者が事業主体となり、予約管理から支線運行を担う。当町でもバス利用者が減少し、巡回バス「ながわこん」もその活性化が問われ、地形も二股路線であること等類似点が多く、大変参考になる研修となった。(報告：龍野一幸議員)

8月3日(木)、長和町議会では議員全員の参加を得て、公共交通事業の先進地として、山梨県身延町へ視察研修を行いました。身延町は、JR身延線が富士川沿いに走り、そこから東西の山間部に集落が点在して、多くの高齢者が暮らしており、公共交通の確保は重要な行政課題となっている。身延町では、公共交通事業を交通防災課が担当し、町営バスと「みのぶ乗り合いタクシー」の運行



身延町役場での研修を終えて

8月3日(木)、長和町議会では議員全員の参加を得て、公共交通事業の先進地として、山梨県身延町へ視察研修を行いました。身延町は、JR身延線が富士川沿いに走り、そこから東西の山間部に集落が点在して、多くの高齢者が暮らしており、公共交通の確保は重要な行政課題となっている。身延町では、公共交通事業を交通防災課が担当し、町営バスと「みのぶ乗り合いタクシー」の運行

を担っている。平成16年に3町が合併し現在の身延町となるが、平成20年より町営バスを補完する形で「みのぶ乗り合いタクシー」の運行が開始された。身延町地域公共交通活性化協議会が運営主体となり、3町で営業していた3社のタクシー会社がエリア運営する。商工会が予約センターとなって配車する。集落が街道沿いにある地区では路線を決めた運行で、他の2地区はデマンド型になっている。登録制で、運賃は大人300円、小中学生100円、未就学児無料となる。乗り合いタクシーの運行により町営バスの路線整理が進み、効率の良い公共交通が展開されていると感じた。町営バスでは観光客のために週末運行される路線が新たに加わっている。(報告：荻野友一議員)

■ 下諏訪町・長和町議会議員研修会



研修を終えて(黒耀石体験ミュージアム)

# 黒耀石の歴史から繋がりを再発見



Abe

9月22日(金)、長和町において「下諏訪町・長和町議会議員研修会」が開催されました。下諏訪町議会は今年の4月に議会議員選挙があり、無投票ではありましたが、13名のうち5名が新人議員となり、20代の女性議員や30代の男性議員も加わりました。

今回の研修会は「黒耀石体験ミュージアム」に於いて開催され、下諏訪町議会議員の皆さんには、「星くそ館」の視察、黒耀石のグッズづくりを体験して頂きました。始めに体験ミュージアムで、学芸員の大竹幸恵さんによるスライドでの説明が行われ、長和町の黒耀石大使による国際交流の活動の様子とともに、オランダの博物館での研究成果が話されました。これまでにまだ公開されていない新たな情報として、江戸時代後期に来日したシーボルトがオランダに持ち帰

森田議長の議会概説(10)

● 長和町議会議員の任期は11月末まで半期2年になります。議長や委員会の任期は2年と決まっているので、12月議会からは新構成になります。これまで議会がよりに目を通し、議会に町政に関心を寄せて頂いた多くの皆様に御礼申し上げます。

問 「なぜ議長や委員会任期は半期2年なの？」

答 議員任期は4年ですが、委員会の任期は委員会条例で2年と、議長、副議長の任期は申し合わせで2年(再任も可)と決められています。

議長、副議長は選挙で、委員長は互選で選出されます。12月の議会開会日には新しい議会体制が決まります。

った黒耀石のコレクションを研究した結果、長和町産と下諏訪町産の2つの黒耀石が含まれることを突き止めたお話を教えていただきました。200年前のシーボルトコレクションの研究と発見の中にも隣町である下諏訪との繋がりがあることを知り、黒耀石を通して親近感が感じられ、嬉しい再発見がある研修会となりました。

(報告：阿部由紀子議員)



Morita

決まります。



■ マチイロアプリを入れると、スマホやタブレットでながわまち議会がより見ることが出来ます。

★表紙写真の説明★

〈中山道「唐沢の一里塚」〉

表紙の中央奥に見える2つの盛り上がりが唐沢一里塚で、その間を中山道が通っています。

一里塚は、江戸初期、五街道に一里ごとに築かれた土盛りの塚です。通常は対で設けられ、旅人が木陰で休めるように、榎や櫻、松などが植えられました。



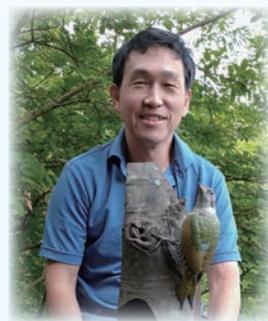
唐沢の一里塚は、この辺りの中山道の道筋が、江戸時代のみならず早い時期に付け替えられたため、路線から外れ、山中に残されています。戦時中の開墾により一部削られた箇所もありますが、ほぼ往時の原形を留めていて、今では五街道中でも珍しい、対で残る一里塚です。

唐沢集落を抜けて国道142号を渡った山の中にあり、「歴史の道中山道」として整備されています。

(写真は、江戸方から望む)

# 長和町 あの人を訪ねて

— 第18回 —



たつかわ ただし  
**竜川 禎さん**  
(古町学者村)

## 略歴・活動

1955年北海道生まれ。桑沢デザイン研究所卒業後、工業デザインに携わる。その後バードカービング(鳥の彫刻)の世界に入って33年目。科博など各地の施設に作品を提供する。

広報常任委員会が町民の皆様を訪ねて、意見や活動をお聞きします。

**問** どうして長和町に？

**答** バードカービングの仕事が軌道に乗り、住まいを東京にこだわらなければならない、2001年冬、家族3人で移住して来ました。引越し前日はうず高く積もっていた雪かきが大変で、当時の管理人の横山さんには大変お世話になりました。

**問** 町での生活は快適ですか？

**答** 自然豊かな環境の中、子供は保育園、小・中学校をのびのびとすごしました。感謝です。「キュルテュール・ド・ながわまち」の活動がきっかけで、町の

皆さんと知り合えました。その後「黒耀石のふるさと祭り」「グリーンツーリズム」「支え合いサポート」等のボランティアをするうち、移住組ながら『わが町長和』という意識も芽生えてきました。

仕事の息抜きにキャンプやツリーングを楽しんでいます。当地は周辺に美術館も多いので、魅力あるところですね。(諏訪の北澤美術館がお気に入り!)  
ご近所の皆さんと結成した「ウィズ壮年合唱団」に所属し、月2回練習に励んでいます。指

導者にはとても恵まれているのですが、合唱の道は険しく厳しいです!

私の住む地区には正式な自治会がないのですが、有志の皆さんと一緒にコミュニティ作りをしています。今夏は2日間にわたり、盆踊り大会も催しました。

**問** 町や議会に望むことは？

**答** 和田と長門が合併した当初は9000人弱だった町の人口が、現在では6000人弱となり、激減しています。ただ、その要因である少子化や高齢化は全国的なことで避けようのない大きな流れ。そのスピードをいくらかでも遅くするのも大事ですが、人口減少下でも持続可能な町のビジョンを描き、練り上げた施策をスピード感を持って実行してほしいと切に願います。

議会には、町執行機関がしっかりと現状を見据えた施策を立案・実行するよう導き、また各議員自らが町長になったつもりで、町にとってより良い政策を考え、推進するよう望みます。

## 長和町議会議員から 町民の皆様へ

議会から町民の皆様へのお知らせや議員の思いなどを掲載しています。第72号は、**羽田公夫**議員です。

▼何気なく止まる駐車場。気が付けば、白線内にやや斜めに止まっているではないか。気が済むまでやり直して、下車。「運転には自信を持っていたのに」と気づいたのが高齢者と呼ばれるようになった頃。▼最近「後期高齢者」になって、あちこち身体の不具合が気になる。家の中を歩けば敷居に足のつま先をぶつけ、痛い思いは度々。会話の音が聞きにくいので補聴器でもと相談すれば、まあ最低でも50万ほど出せばとの返答に、もう少し我慢するか。▼物忘れも頻繁で、スマホを一旦離すと何処へ置いたか思い出せない。呼び出し音を頼りに探し回る。▼日本人が17年連続でイグ・ノーベル賞を受賞。簡単にうせ物が分かる機械の発明は。

## ながわまち 議会だより

### 広報常任委員会

- 委員長 佐藤 恵一
- 委員 阿部由紀子
- 田福 光規
- 原田 恵召
- 渡辺 久人
- 編集 森田 公明

■ 町政や議会、「議会だより」に関するご意見や感想をお寄せ下さい。

■ 長和町議会事務局 〒386-0603 長野県小県郡長和町古町 4247-1

電話：0268-75-2059 / FAX：0268-68-4139 / メール：gikai@town.nagawa.nagano.jp